

# にっしんESD講座通信

## 2021年2月6日 冬の里山ウォーク

4 質の高い教育を  
みんなに



15 陸の豊かさも  
守ろう



里山の生物多様性の保全をテーマとした講座が五色園で開かれました。

この講座は、自然の楽しさや大切さを伝え、持続可能な社会の担い手を育む「人づくり」を目指すESD(持続可能な開発のための教育)活動の一環として行われています。講師は、特定非営利活動法人生物多様性愛護会の代表浅井達雄さんです。浅井さんはビオトープ施工管理士の資格を持っており、専門的な知識を分かりやすく伝えてくれました。

五色園の山の中をみんなでウォーキングしながら木々や落ち葉、野鳥などを観察しました。クヌギとコナラの落ち葉からそれぞれの特徴を観察したり、クヌギの木でカブトムシを採集するときのトラップの作り方のポイントを教えてもらったりしました。また、地面に落ちている石が丸いものが多く、これは地殻変動により転がって角が削られたものであること、現在の日進の位置は大昔「東海湖」と呼ばれる巨大な湖であったことなど、地形や地質についても教わりました。日々の何気ない散歩でも周りの生きものや過去の日進の様子を知っていると、また違った視点で散歩を楽しめると思います。



池にいるマガモをみんなで観察



三鉢の松の話聞きながら松を観察